

無料の寺子屋で じっくり学んで

西東京 早大同窓会がNPO

西東京市内の早稲田大学卒業生でつくる同窓会組織「西東京稲門会」が、塾に通っていない小中学生に無料で勉強を教えるNPO法人「稲門寺子屋西東京」を設立、昨年12月に教室を始めた。先生は早大卒業生に限らず、教えたい人がボランティアで登録している。「じっくり教えてもらえる」と好評で、現在約30人の児童生徒が通っている。

(相関真樹子)



「この問題は大丈夫?」。一人ひとりに丁寧に教える。西東京市田無町5丁目

塾に行っていない小中学生対象

東京ボランティア・市民活動センターによると、NPOで、一般の子どもを対象に無料で勉強を教える活動は珍しいという。

4日午後6時半、田無総合福祉センター(田無町5丁目)に中学生5人が集まった。この日の科目は英語と数学。数学を担当する元教員の女性(69)が生徒の一人ひとりに向き合う。「二つの直線の交わりを考えるには、ペンを使うといいんだよ」「あ、わかった」

先生1人に、生徒は3人ままで。女性は「わからなかったことがわかるようになる、その楽しさを教えたい。ずっと教える機会を探していたのでうれしい」と話す。1年生は「ここだと、わからないところをしっかりと教えてもらえるのがいい」と話した。

西東京稲門会(会員約250人)が、西東京市の合併10周年を前に「何か人の役に立つことをできないか」と話し合ったのがきっかけ。「塾に通いたくても通えないなど、

勉強の環境が整っていない子どもにも勉強を教えよう」と決り、教室が始まった。

「我々は裏方」と、稲門会は事務局を務め、先生役は早大卒業生にこだわらず広く募集した。教員経験者や主婦ら約30人が集まった。

科目は英・数・国の3科目。教材は教科書や学校で配布されたプリントなど、児童生徒が持つてくる教材

を使う。対象は小5から中3までだが、受験指導はせず、授業の補習をしっかりする。

事務局の小嶋弘さんは「塾に行きたくてもお金がなくていけないなど、事情を抱えているお子さんたちにぜひ利用してほしい」と呼びかける。

先生も引き続き募集中で、特に算数・数学を教えられる先生を探している。

場所は市内2カ所。田無総合福祉センターでは火、水、木曜の夜、柳橋市民集会所(新町1丁目)は金曜夜と土曜午前。時間は1コマ90分で、夜、午前とも2コマある。西東京市内だけでなく、通える範囲なら近隣市の児童生徒も受け入れる。

問い合わせは事務局の小嶋さん(080・4125・1038)へ。